

教本「取調べ（基礎編）」の概要

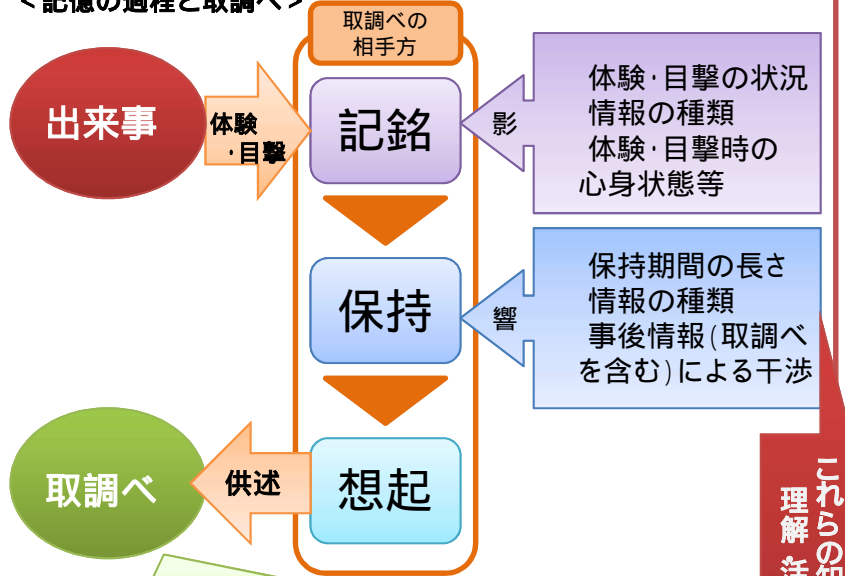
コンセプト

取調べの相手方から正確な情報を可能な限り多く入手するとともに、虚偽供述を防ぐための基本的手法

構成

第1章 取調べと関連する心理学の知見

<記憶の過程と取調べ>



想起への集中を高める手法
挨拶や取調べの目的・進行等の説明など

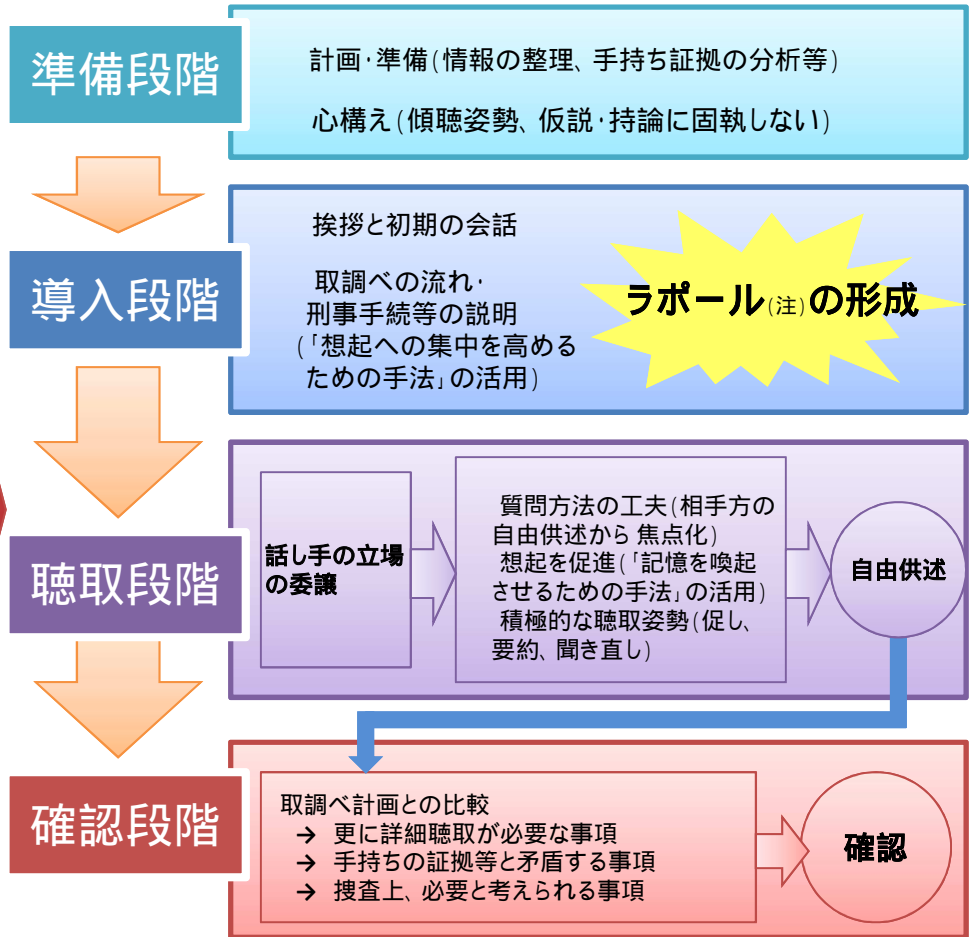
記憶を喚起させるための手法
状況の心的再現、全ての報告、逆向再生、細部記憶の補助

虚偽自白の原因

- 自発型虚偽自白 ……より重い罪が明らかになることを防ぐためなどが原因
- 強制・追従型虚偽自白 ……当面の利益が、将来の問題より重要であると判断してしまうことが原因
- 強制・内面化型虚偽自白 ……犯行時間に自分がしていたことの記憶がないなどが原因

第2章 心理学の知見を踏まえた取調べの基本的手法

<取調べの流れ>



注) 取調べの相手方が想起に集中することができ、かつ、思い出したことなど何でも話せる関係を意味する心理学上の用語。